

# 峰山地区だより

令和八年二月号

【発行】峰山地区コミ協議会 高江町一七三五―一八〇二 2157

## 2/7 原子力防災訓練 今年度避難先は鹿児島南高校

高江未来学校体育館集合



スマホQRコードで本人確認（未来学校到着時とバス乗車時の2回）



放射線の基礎知識等についてお勉強



作ったベッドで…

その他防災避難用品や  
衛星を使う通信機器の  
コーナーもあり、参加  
者一同興味津々！

放射能と放射線について・・・似て非なるもの  
放射線…放射性物質から出される粒子やエネルギー  
放射能…放射線を出す能力（≒放射性物質）  
○避難できなかった場合は屋内退避（密閉＊通常のエアコン使用可）→建物真ん中◎ 三日分水食料備蓄  
○安定ヨウ素剤服用→甲状腺をヨウ素で満杯にする  
→放射性ヨウ素が留まる場所がない→体外へ放出



展示のひろば

### 市生涯学習フェス参加 生彩楽祭

等選考委員会開催 新年度自治部会四月一日開催【健康福祉部会】市生涯学習フェスについて、高江からの来場者が増えてほしい。野菜の売れ行きがよかったので、高江の方も出されてはどうか。【地域部会】太郎太郎踊り毎週金曜日上高江自治会館で練習中。二月二十八日九時から上高江自治会館で綱練り実施【防犯防災交通部会】三月七日高江自主防災訓練開催（回覧チラシ参照）ぜひ御参加を【森満市議】市予算過去最大―公民館エアコン設置補助も【主事】市シェイクアウト訓練を利用して、会員同士の共通理解を推奨【協議事項】コミ協規約等一部改正について提案 次回審議



内山雅雄前会長  
三年表彰

コミュニティブランド市



環流踊りクラブの高齢トリオ今年も元気に参加

### 近々の行事予定

- 3月1日 南方神社 春の大祭 10時（高江太郎太郎踊り）
- 7日 峰山地区総合消防・自主防災訓練 10時
- 11日 市シェイクアウト訓練 11時頃

## 社会福祉協議会みんなのつながり発表会

社会活動家湯浅誠先生＝つながりの数について…6名だとつながりの数は15、一人減って5名になるとつながり数は14ではなく10になる。4名になると6…人とつながりの数、何かの時に思い浮かぶ顔が多いほど安心につながる。

人の生活は赤信号になってから目につきやすくなる。しかし赤信号では、ゴミ屋敷になっていたり孤独感が増していたり、対応が難しい。いかに黄色信号の際に気付けるか。本人も自覚がないことが多いので気付きにくい。高齢者に多い黄色信号になるきっかけは…なんだと思います？

なんと誰かのお葬式だそうです。

市高齢介護福祉課＝住み慣れた地域で要介護になっても生活できるネットワーク構築の重要性→ささえ愛マップの活用な

事例発表…手打地区麓自治会・斧淵地区コミ協・可愛地区城峯自治会 各地域の特色ある活動を聞くことができました。

### お知らせ



・今年度も峰山地区コミュニティ協議会として、**薩摩川内市シェイクアウト訓練** (3/11 午前11時頃)に参加します。これは地震の際の行動を実際に行うことで、いざという時に慌てないようにすることを目指すものです。当日は「FM さつまさんだいい」の訓練開始の放送を合図に【まず低く→頭を守り→動かない(1分程度)】という安全確保行動をとります。積極的な参加をよろしくお祈りします。

・峰山地区だよりは、市のホームページ→関連リンク内の市民活動情報サイト→峰山地区コミ協」内に掲載してあります。紙媒体は白黒で分かりにくいと思いますので、市のホームページかコミセンの掲示板で、カラー写真をご覧になってください。右QRコードから入れます。(行事写真も若干載せてます)



・わかまつ園様より高江出初式のお祝いをいただきました。

・3/7(土) **峰山地区総合防災訓練**を行います。参加自由ですので、家事を主にこなされている方の参加をお待ちしております。(今年度は水消火器の訓練のみ)

須賀美恵子様白浜自治会からお姑ミエ様御逝去により、香典返しをいただきましたので御紹介いたします。亡きミエ様の御冥福をお祈りいたします。

## 協カ隊サミットに参加して、久留米に行ってきました!

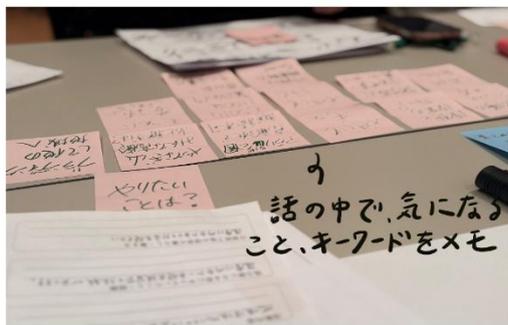


**DAY 1:「知る」**  
一日目はプロフィール帳を作成し、自己紹介をしました。自分や地域のことを話し、たくさん質問を受けました。協カ隊になつた頃の初心を思い出す一日でした。

**DAY 2:「掘り下げる」**  
二日目は「他己紹介ワークショップ」をしました。他の人の視点から、自分では気づかなかつた自分を知りました。事実がどうかよりも、どう見えているのかを意識しました。



**DAY 3:「深める」**  
最後の日はグループディスカッション。それぞれの悩み、得意苦手なことを深く知ることができました。それを聞いて、だからこそ協カ隊になつたんだと感じました。



## 山峯山地区地域おこし協カ隊

